

# 大震災で被災された方々のために 遺愛としてできること

3月11日（金）の東北・関東大震災は、本当に大きな被害をもたらしました。遺愛の生徒会（鈴蘭会）も、新学期の始業式に生徒に訴え、募金活動を始めました。また、YWCAが中心になって、励ましのお手紙を書いたり、救援物資を送る予定です。

北海道新聞（4月5日朝刊）には、カナダのビクトリア市に留学中の本校の英語科2年生の川内谷莉子さんら3人が仲間によびかけ、留学中の日本人高校生と短大生30人とともに、3月18、19、26日の3日間、ビクトリア市中心部の商店街をプラカードを掲げて練り歩いて募金を呼びかけ、手作りクッキーなども販売して収益を寄付したという記事が出ていました。3日間で約9000カナダドル（78万円）が集まり、カナダの赤十字を通じて義援金として送ったそうです。川内谷さんの積極的な行動は、日本にいる在校生にとってもとても励みになります。

遺愛では、被災者の中で遺愛で学びたいという方がいれば、奨学金を支給し、授業料がかからずに勉強できるような受け入れ体制を整えています。制服もお貸しできます。（対象は中学1年生と高校1～3年生です。）寮もありますので、食費はかかりますが、寮費は免除して受け入れようと検討しています。もし希望の方がいらっしゃれば、遺愛の方へお問い合わせ下さい（0138-51-0418 町田教頭）

2011年4月9日（土）



4月6日（水）入学式の日の本館  
本館前のクロッカス